



北広島町 定住者の声

▲田舎のおばあちゃんの家に来たような、懐かしい雰囲気のある庭先で、『冬はとにかく寒いです。寒ささえ我慢できれば、北広島暮らしはやっていけます。』と智裕さん。

🏠 移住のきっかけは？

震災後、原発事故がきっかけで東京を離れることにしました。同じ思いの広島出身の友人家族と、とりあえず広島に来て、市内のシェアハウスに住み始めました。関東で生まれ育った私たちにとって、広島は未知でした。私たちはお互いに家探しを開始し、広島県内のあちこちの空き家を見て回っていました。そして北広島町で古民家に出会い、引っ越しを決めたんです。

🏠 北広島町の印象は？

『山だ~~~~！！山しかない~~~~！！』
といった印象でしたね（笑）。

🏠 驚いたことは？

水がおいしいことにビックリしました。それとここの人たちはほんとにこまめで、朝夕しょっちゅう草刈りをしてるんです。驚くのと同時に『偉いなあ、凄いなあ。』と感心しますね。



▲ご家族4人暮らしに手頃な大きさの古民家。
ゆっくり落ち着ける場所に出会いました。

🏠 良かったこと・苦労したことは？

ここに来るまでは、東京の下町のような場所に住んでいたため、手の届く範囲に全てが揃っていました。便利な生活を手放したことで見つかったものがあるというか、ここは都会にはない楽しみがあります。不便な中だからこそその楽しみ方というか。苦労したことは、やっぱり家探しですかね。今の家はここに来て2件目なんですけど、前の家も今の家も人の繋がりで紹介してもらい、どちらの大家さんも本当に良くしてくださって、今思うと苦労じゃないですね。



▲ご主人はいけばな作家さん。本当はもっと森の中に住みたかったけど、水が美味しかったのでここに決めたとのこと。『創作意欲が掻き立てられる森の中にアトリエを造りたい。』と語ってくれました。

▲玄関の天井に飾ってあるワイヤーアート。

🌸 お仕事は？

福祉関係の仕事に就いています。障害を持った方の施設に勤務しているんですが、彼らの作る物はとても感性豊かで素晴らしく、非常に刺激を受けますね。僕にとって、彼らは先生です。(智裕さん)
週のうち3日はパートに出て、あとはお菓子を作って友人のショップなどで販売しています。(明子さん)

🌸 北広島町の魅力は？

自然が豊かで農作物や水が美味しいことですね。それと、星空がとんでもなくキレイなんです。さすがにこの美しさは東京では味わえなかったですね。

🌸 ご近所とのつきあいは？

おとなりさんから、自由に使っていいよと畑を借りてます。あんまり作れてないですけど(笑)。以前の家は大家さんの離れを借りていました。子供たちはご近所のおばちゃんと仲良くなって、テレビを観せてもらったりしていました。馴染みの温泉やお好み焼き屋さんでは、まるで自分たちの家みたいにくつろがせてもらっています(笑)。野菜は、移住者の先輩でもある近所の有機野菜農家さんで直接買っています。いつも利用しているので、もううちの冷蔵庫状態ですね(笑)。

🌸 幸せとを感じるひときは？

やっぱりみんなでご飯を食べてるときですね。大家さんと呼んで一緒に飲む時間もいいですね。広島に来て、市内で出会った人もこの町の人も、なんてあったかいんだと感じました。やかましいおじちゃんや口うるさいおばちゃんも、私たちが気にかけてくれるからなんです。優しいんですよ。それが一番うれしいことかもしれないです。

🌸 移住を検討している方へのメッセージ

家賃に追われないで生きていけます。しかも、住んでるだけで感謝されるんですよ。いろんな考え方があると思うけど、都会の生活しか知らない人は一度田舎に来てみるのもいいんじゃないかな。田舎の空気に触れたら何か感じるものがあるかもしれないですよ。



▲テレビを置く習慣がないので、お子さんは保育園で『ドラえもん』を知ったそうです。

羽鳥 智裕(はとり ともひろ)さん 30代

仕事：福祉関係、いけばな作家

明子(あきこ)さん

40代

仕事：菓子製造

日都(わと)くん

6歳

朔功(さく)くん

2歳

移住前：東京都

現住所：北広島町吉木

移住年月：平成23年3月

